

2024年12月17日

各 位

会社名 SAAF ホールディングス株式会社
代表者 代表取締役社長 前 俊守
(コード：1447、東証グロース)
問合せ先 上席執行役員管理本部長兼CFO 野間 崇
(電話番号：03 - 6770 - 9970)

資金使途変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2022年8月15日付適時開示「第三者割当による新株式の発行及び新株予約権の発行に関するお知らせ」(以下「本第三者割当増資」といいます。)および2023年8月23日付適時開示「資金使途変更に関するお知らせ」で公表しました調達資金の使途(以下「資金使途」といいます。)について一部変更することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 本第三者割当増資

(1) 変更の理由

当社は、2022年8月15日付適時開示「第三者割当による新株式の発行及び新株予約権の発行に関するお知らせ」2. 募集の目的及び理由 (1) 本資金調達の目的及び理由に記載のとおり、コア事業への投資および財務基盤の安定を目的に本第三者割当増資を実行いたしました。

そのような中、資金使途であるM&A費用については、2024年11月26日付適時開示「株式会社ユーシンの株式取得(連結子会社化)および特定子会社の異動に関するお知らせ」に記載のとおり株式会社ユーシン(以下「ユーシン」といいます。)の全株式を取得し連結子会社化(以下「本株式取得」)することを決定いたしました。また、本日付適時開示「シンジケートローン契約締結に関するお知らせ」で別途公表いたしましたとおり、本株式取得に係る資金調達を決定しております。シンジケートローンにより1,800百万円の資金調達を行うものの、ユーシンの取得価額およびその他取得に係る手数料等を踏まえると、当該資金調達額では本株式取得の費用を賄うことができない状況です。そのため、本第三者割当増資の新株式発行による資金調達額624百万円(発行手数料を除いた額)のうち、未充当である380百万円を本株式取得費用として充当することが適切であると判断いたしました。なお、充当予定でありましたその他の資金使途については、市場概況および当社グループの財務状況等を踏まえて自己資金等で充当していく予定です。

なお、資金使途であるM&A費用200百万円のうち56百万円は新株予約権の行使による調達を予定していたものの、当社の株価が行使価額である423円を超えておらず資金調達ができていません。そのため、56百万円については、別途資金使途であるシステム開発事業のITbookテクノロジー株式会社(現NXTech株式会社)のSE(システムエンジニア)等の人材採用費用へ加えております。

(2) 変更の内容

変更箇所は下線を付しており、変更後の金額における下段の括弧書きの数値は 2024 年 11 月末時点における充当済み金額となります。

【変更前の内容】

具体的な用途	金額（百万円）	支出予定時期
グループ各社におけるアクティブな既存顧客基盤（18,000 社超）に対するクロスセルをより効率的に実施し、事業を拡大させるための統合顧客データベース構築及び Web サービス拡充費用（当社）	<u>50</u>	2022 年 9 月～ 2025 年 3 月
<u>今後の注力分野として位置付けている非戸建住宅のマーケット獲得の一環として、従来、取扱いが少なかった大型の建物（高層ビル・物流倉庫等）を対象とした地盤改良工事の強化及び高度経済成長期のビル等における「解体ラッシュ」により需要が高まりつつある、解体建物の改良杭の杭抜き・破砕工事サービス分野への進出を目的とした、大型施工機 1 機の購入費用（株式会社サムシング）</u>	<u>150</u>	<u>2022 年 9 月～</u> <u>2025 年 3 月</u>
新規事業（破砕工事）の事業化調査及びそれに伴う設備費用（株式会社サムシング）	<u>50</u>	2022 年 9 月～ 2025 年 3 月
販売用不動産の取得費用等（株式会社三愛ホーム）	200	2022 年 9 月～ 2024 年 3 月
<u>教育人材派遣分野の事業拡大を目的とした、福岡県又は愛知県への出店費用（株式会社イスト）</u>	<u>30</u>	<u>2022 年 9 月～</u> <u>2025 年 3 月</u>
オペレーション効率向上及びボーリング設備増設・移転によるエリア開拓を含む事業拡大を目的とした、技術センター（埼玉県所沢市北岩岡）と資材センター（埼玉県所沢市中富）との統合に係る本社移転費用等（株式会社アースプライム）	252	2022 年 9 月～ 2026 年 3 月
当社グループの既存事業との相乗効果を期待できる <u>IT 及び建設関連</u> の M&A 費用（当社）	<u>200</u>	2022 年 9 月～ 2026 年 3 月
事業規模拡大に向けた人材採用費用及び、建築・土木 IoT、環境・防災 IoT・ヘルスケア IoT 等の新商品の開発及び自社 IoT サービスの海外（ASEAN 市場）への拡販費用（ITbook テクノロジー株式会社）	<u>21</u>	2023 年 4 月～ 2026 年 3 月
資金用途の合計	953	

【変更後の内容】

具体的な用途	金額（百万円）	支出予定時期
グループ各社におけるアクティブな既存顧客基盤（18,000 社超）に対するクロスセルをより効率的に実施し、事業を拡大させるための統合顧客データベース構築及び Web サービス拡充費用（当社）	<u>9</u> (9)	2022 年 9 月～ 2025 年 3 月
新規事業（破砕工事）の事業化調査及びそれに伴う設備費用（株式会社サムシング）	<u>35</u> (35)	2022 年 9 月～ 2025 年 3 月
販売用不動産の取得費用等（株式会社三愛ホーム）	200 (200)	2022 年 9 月～ 2024 年 3 月
オペレーション効率向上及びボーリング設備増設・移転によるエリア開拓を含む事業拡大を目的とした、技術センター（埼玉県所沢市北岩岡）と資材センター（埼玉県所沢市中富）との統合に係る本社移転費用等（株式会社アースプライム）	252	2022 年 9 月～ 2026 年 3 月

当社グループの既存事業との相乗効果を期待できる建設関連の M&A 費用（当社）	<u>380</u>	2022 年 9 月～ 2026 年 3 月
事業規模拡大に向けた人材採用費用及び、建築・土木 IoT、環境・防災 IoT・ヘルスケア IoT 等の新商品の開発及び自社 IoT サービスの海外（ASEAN 市場）への拡販費用（NXTech 株式会社）	<u>77</u>	2023 年 4 月～ 2026 年 3 月
資金使途の合計	953	

2. 今後の見通し

本件による当社連結業績に与える影響は軽微であります。今後、業績等に影響を与える事象が発生すると判断した場合には、速やかに開示いたします。

以上